

40 第40回金田えびす祭 年にわたって受け継がれる招福行事

12月2日から3日にかけて、金田菅原神社境内で金田恵比須神社奉賛会主催の「第40回金田えびす祭」が行われ、約1000人が訪れました。特賞の鮭や、野菜・果物の詰め合わせなどが当たる毎年好評の福引きで、参拝者は恒例の運試し。縁起をもたらす「打ち込み」の掛け声が境内に絶えず響き渡り、参拝者は年の瀬に、家内安全や商売繁盛などを祈願しました。



↑ 雨の中多くの参拝者が訪れ、福を招く打ち込みで家内安全などを祈願しました。

↓ 沿道の声援を力に変え0.6kmのコースを元気に駆けぬげる小学校低学年男子。



声 第10回福智町ふれあいマラソン大会 援を力に子どもたちが全力疾走!

11月22日、福智町子ども会育成連絡協議会主催の「ふれあいマラソン大会」が行われ、小学校1年生から中学生までの子どもたち約150人が参加。5部門に分かれ遠賀川河川敷の0.6kmから3kmまでのコースを元気いっぱい力走しました。全員に参加賞と各部門3位までを表彰。恒例となったマラソン大会は子どもの体力向上と心身の鍛錬につながっています。

福 第15回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭で入賞 福智のベテラン棋士 県大会で好成績

高齢者の生きがいを支援する県事業「ねんりんスポーツ・文化祭」の将棋交流大会が11月1日に行われ、腕自慢の棋士が熱気に満ちた対局を展開。「福智の郷将棋同好会」が好成績を収めました。【親睦戦・優勝】原田美喜男【Cパート・準優勝】松本光雄※敬称略 部員募集中 毎週 19時～昭和町生活館 初心者でもOK! 原田美喜男(同好会会長) ☎ 22-3437



↑ 右から部員の原田美喜男さん・松本光雄さん・福島重利さん・木下賢蔵さん。

↓ 介護のコツを実習。バスタオルを体下に敷くと楽に引き上げることができます。



介 福岡県補助事業 介護体験教室 護のコツを学び互いに支え合い

県補助事業で介護福祉会主催の「介護教室」が12月5日、金田分館で行われました。福智町ではすでに3人に1人が高齢者となり、「誰でもできるらくらく介護」を学ぼうと15歳から90歳までの町民38人が参加。参加者はベッド上や立ち上がる時の介護のコツ、更衣や歩行介助のポイントを介護のプロに教わりながら2時間にわたり講義と実践で学びました。



↓ 15人の有志や地元生産者などの協力で再開を果たした「ふくちの郷」には愛情のこもった逸品がずらり。

地 「ふくちの郷」リニューアルオープン 産地消を通じて地域活性化

1年間休業していたほうじょう特産館「ふくちの郷」が12月4日、リニューアルオープンしました。51の個人や企業が、地元野菜・果物や生花、福智産米をはじめ鮮魚、地元農家手作りの弁当や加工品、生活用品まで多数の商品を出品。9時のオープンを前に、早朝から地元生産者が朝採れの新鮮野菜や果物などを続々と運び込みました。福智ならではの逸品求め、初日は600人以上が来館。社長の持丸勝利さんをはじめとするスタッフは、「地元密着型の住民に愛される施設にしたい」と話し、地域活性化のために意気込みました。

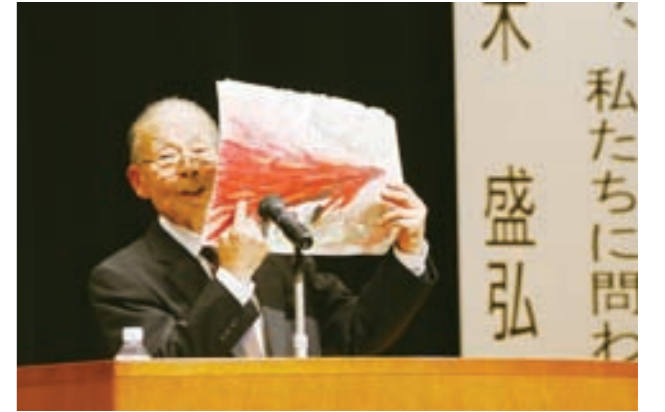
子 下田川子ども会親善交流会 もちつき大会 子どもに手ほどき 力いっぱいもちつき

下田川地区子ども会育成連絡協議会主催の「もちつき大会」が12月12日に方城分館で行われ、幼児から中学生までの子ども約60人が参加しました。子どもたちは重い杵と格闘しながらもちをつき、約30kgのもち米を柔らかいおもちに。みんなで協力してもちをついたり、出来立てのあんこや黄粉もち、いちご大福を味わったりしながら楽しく親睦を深めました。



↑ 大人に教わりながら3人ずつ掛け声に合わせて、テンポ良くもちをつき子どもたち。

↓ 「事実を語り継ぐことが大人の責任」と自筆の絵を用いて戦争の悲惨さを力説。



戦 人権週間講演会 争を無くし人権を守るために

11月25日、地域交流センターで「人権週間講演会」が行われ、約330人が参加しました。悲惨な戦争を経験した自らの生い立ちから、「戦争ほどひどく人権無視をするものはない」と力強く講話。子どもたちに自分と同じ経験をさせたくないという思いから、平和教育や「誇りを持って生きる」ことが人権を守るために大切であることを参加者に強く訴えました。